

内航海運における輸送動向調査結果について [2013. 5]

2008年における米国の金融危機に端を発した景気後退の煽りを受け、日本経済は悪化し、それに伴って国内の海上荷動量は減少しましたが、景気回復の兆しが見られる中にあっても、内航海運の輸送量は依然として低迷を続けています。

その実態を把握する目的で、内航海運の貨物船・油送船の元請オペレータ上位 50 社+ α における輸送量(内航輸送量全体の 80%以上を占める)について、毎月末に調査を行っています。

2013年4月末の調査結果は以下の通りです。*2012年10月調査より、データの質を向上すべく、「上位 50 社+ α 」として調査対象会社を補足して発表しています。

<概要>

1. 貨物船の輸送量は、2008年10月を境に急速に減少し、2009年3~5月に掛けて前年同月比は60%台の低い水準まで落ち込みましたが、2009年10月にはリーマンショック直前の輸送量に対する比率は80%台まで回復しました。

その後、2011年3月に発生した東日本大震災の影響を受けて再び減少に転じました。2011年10月以降は2010年の水準で推移したものの、2012年10月には12ヶ月ぶりに前年同月比を下回る97%となっています。

これは、貨物の主な輸送品目であり、高水準で推移していた自動車の輸送量が、2012年9月のエコカー補助金終了に伴い減少したことなどが影響しています。他方、復興需要や民需などの高まりから、原料(石灰石)及びセメントの輸送量は、前年同月比に対して増加しています。

なお、2013年4月(速報値)における貨物船の輸送量は17,736千トンとなり、前年同月比105%で前年を上回っています。輸送主要品目別の前年同月比は、鉄鋼が102%、原料が111%、雑貨が98%、自動車が97%、セメントが117%となっています。

2. タンカーの輸送量は、2008年8月から減少を始め、2009年4月には前年同月比で90%を割り込みました。

2011年6月には原発の不稼働に伴う電力向け需要の増大を反映して、黒油の輸送量増加が全体を押し上げたことから合計輸送量は前年を上回り、改善傾向が続いていましたが、2012年10月以降は、前年同月比を下回る結果が見受けられます。

なお、2013年4月(速報値)における油送船の輸送量は、10,408千klとなり、前年同月比93%で前年を下回っています。輸送品目別の前年同月比は、黒油が80%、白油が100%、ケミカルが107%、特タン船が92%となっています。

2013年 内航輸送元請オペ上位50社 + α【貨物船】(同月対比)実績推移表

単位(千トン)

分類	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年累計
	回答社数	40	40	40	40									40
鉄鋼 18社	2013年	3,376	3,302	3,819	3,734									14,232
	2012年	3,612	3,629	4,111	3,672	3,560	3,540	3,638	3,541	3,502	3,732	3,260	3,360	43,155
	前年対比	0.93	0.91	0.93	1.02									0.33
原料 (石灰石等) 23社	2013年	4,569	4,446	5,038	4,469									18,521
	2012年	4,333	4,371	4,754	4,042	4,457	4,564	4,676	4,607	4,693	4,884	4,857	5,218	55,456
	前年対比	1.05	1.02	1.06	1.11									0.33
燃料 (石炭・コークス) 16社	2013年	933	896	1,056	961									3,847
	2012年	951	997	1,007	841	700	925	1,041	1,171	983	1,022	1,006	796	11,440
	前年対比	0.98	0.90	1.05	1.14									0.34
紙・パルプ 15社	2013年	228	221	229	215									893
	2012年	225	228	239	222	239	226	227	217	197	263	253	222	2,756
	前年対比	1.02	0.97	0.96	0.97									0.32
雑貨 23社	2013年	1,647	1,967	1,979	1,819									7,411
	2012年	1,597	1,783	1,864	1,862	1,745	1,779	1,905	1,821	1,844	1,964	1,874	1,864	21,902
	前年対比	1.03	1.10	1.06	0.98									0.34
自動車 10社	2013年	3,409	4,037	5,116	3,907									16,469
	2012年	3,607	4,662	5,310	4,029	3,680	4,331	4,503	3,400	3,856	3,666	3,531	3,258	47,833
	前年対比	0.95	0.87	0.96	0.97									0.34
セメント 14社	2013年	2,227	2,306	2,523	2,372									9,428
	2012年	2,258	2,209	2,302	2,028	2,133	2,284	2,346	2,145	2,277	2,307	2,518	2,510	27,317
	前年対比	0.99	1.04	1.10	1.17									0.35
貨物船計 合計 40社	2013年	16,701	17,473	20,052	17,736									71,962
	2012年	16,854	18,163	19,852	16,965	16,772	17,897	18,647	17,185	17,622	18,128	17,583	17,525	213,192
	前年対比	0.99	0.96	1.01	1.05									0.34

※2013年4月の輸送量は速報値

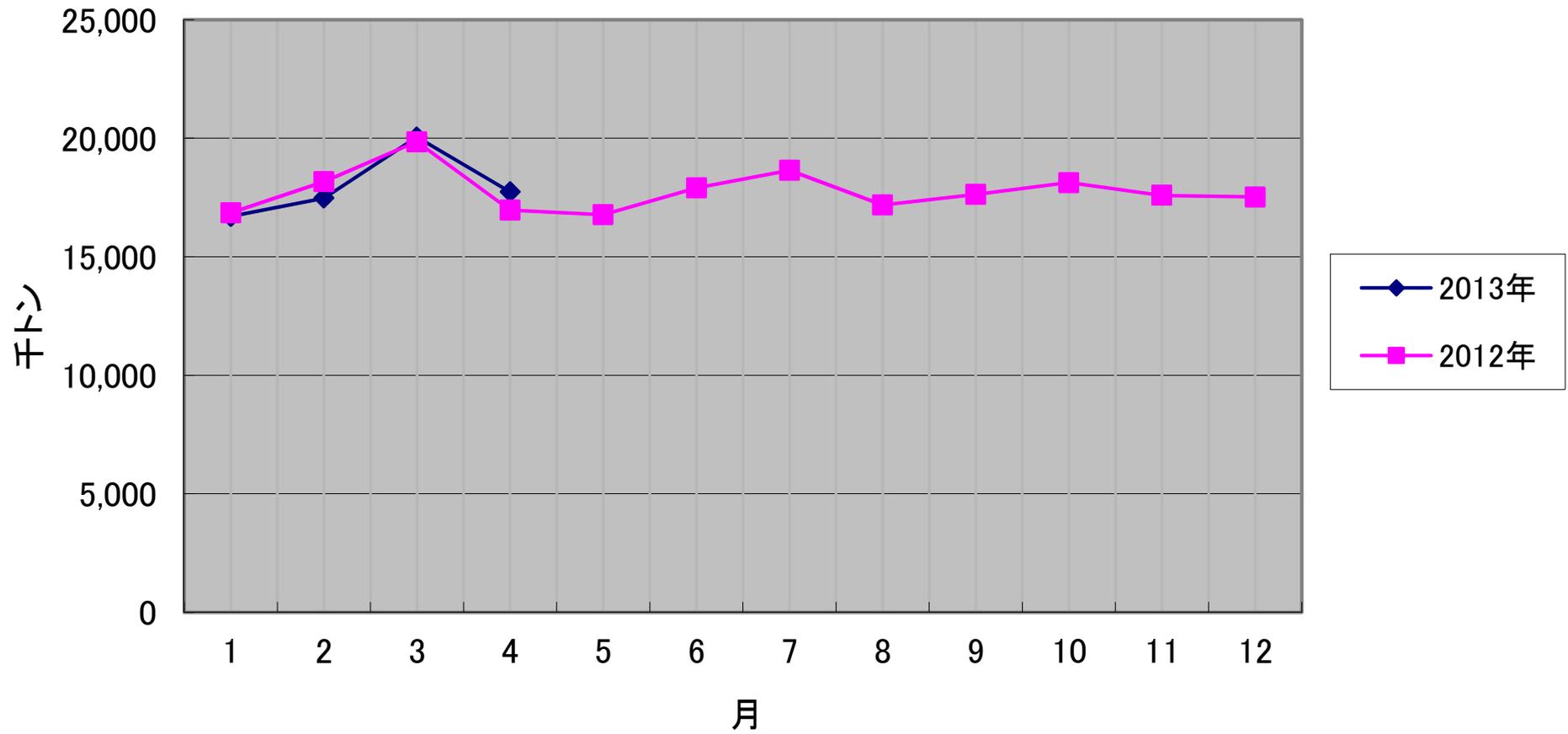
2013年 内航輸送元請才へ上位50社 + α【油送船】(同月対比)実績推移表

単位(千KL)

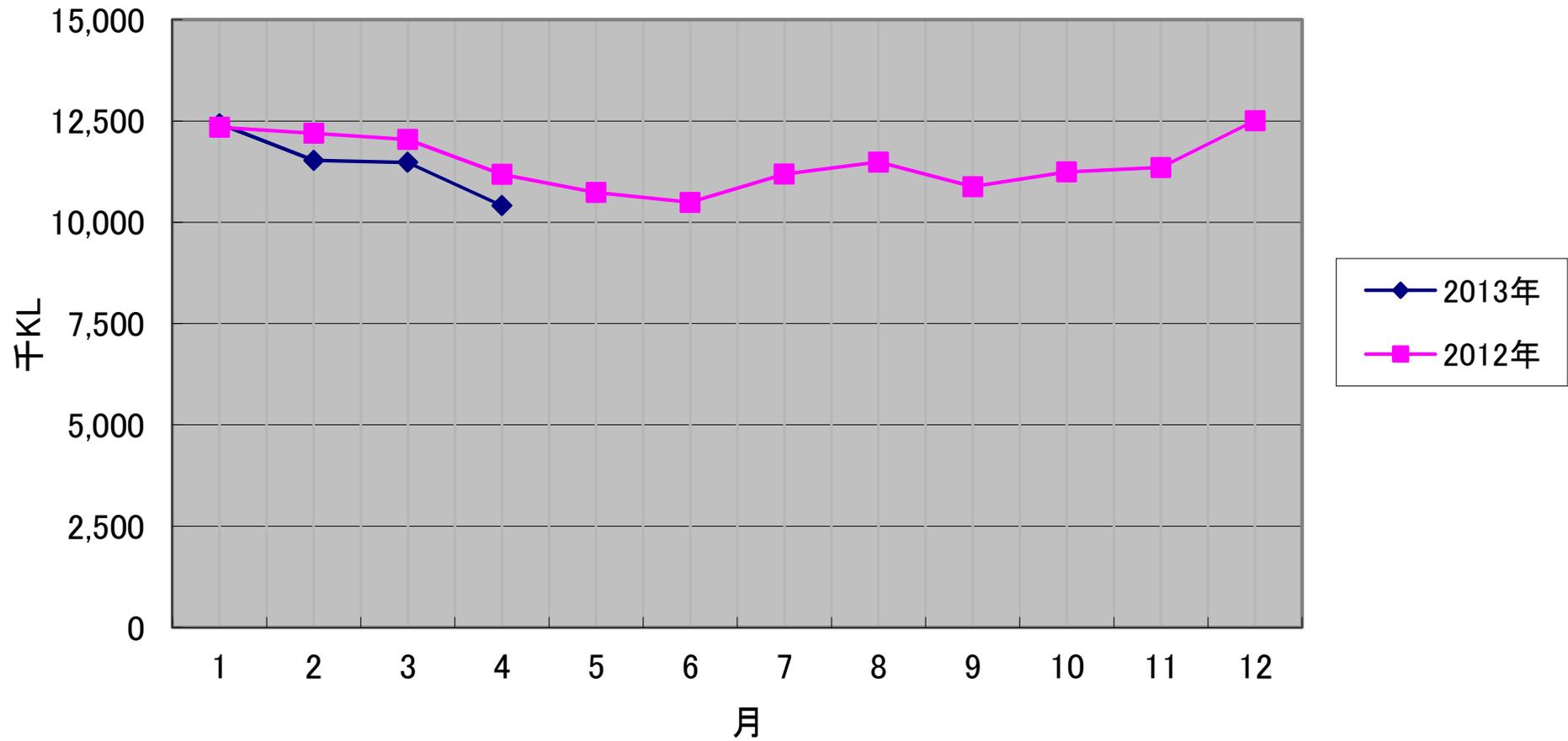
分類	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年累計
	回答社数	29	29	29	29									29
黒油 20社	2013年	4,099	3,803	3,481	2,888									14,271
	2012年	4,029	4,261	3,962	3,628	3,542	3,390	3,564	3,842	3,731	3,618	3,437	4,121	45,127
	前年対比	1.02	0.89	0.88	0.80									0.32
白油 15社	2013年	6,496	6,036	6,253	5,806									24,590
	2012年	6,406	6,156	6,261	5,802	5,549	5,543	5,876	5,923	5,469	5,937	6,248	6,592	71,760
	前年対比	1.01	0.98	1.00	1.00									0.34
ケミカル 13社	2013年	726	657	707	745									2,834
	2012年	740	679	714	694	644	599	677	711	687	639	677	700	8,163
	前年対比	0.98	0.97	0.99	1.07									0.35
一般タンカー 24社	2013年	11,321	10,495	10,440	9,439									41,696
	2012年	11,175	11,096	10,937	10,124	9,736	9,532	10,117	10,476	9,887	10,194	10,363	11,413	125,050
	前年対比	1.01	0.95	0.95	0.93									0.33
高圧液化 14社	2013年	601	547	530	504									2,183
	2012年	660	609	557	532	522	495	549	506	498	498	498	600	6,524
	前年対比	0.91	0.90	0.95	0.95									0.33
高温液体 7社	2013年	130	128	133	87									478
	2012年	123	133	146	119	113	95	128	125	133	155	143	135	1,549
	前年対比	1.06	0.97	0.91	0.73									0.31
耐腐食 12社	2013年	375	357	375	378									1,485
	2012年	383	362	400	403	362	371	393	379	363	396	350	365	4,528
	前年対比	0.98	0.99	0.94	0.94									0.33
特タン船 21社	2013年	1,106	1,032	1,038	970									4,146
	2012年	1,166	1,103	1,103	1,054	998	962	1,070	1,009	994	1,050	991	1,100	12,601
	前年対比	0.95	0.94	0.94	0.92									0.33
タンカー計 合計 29社	2013年	12,428	11,527	11,478	10,408									45,842
	2012年	12,341	12,199	12,041	11,178	10,734	10,494	11,187	11,486	10,881	11,244	11,354	12,513	137,651
	前年対比	1.01	0.94	0.95	0.93									0.33

※2013年4月の輸送量は速報値

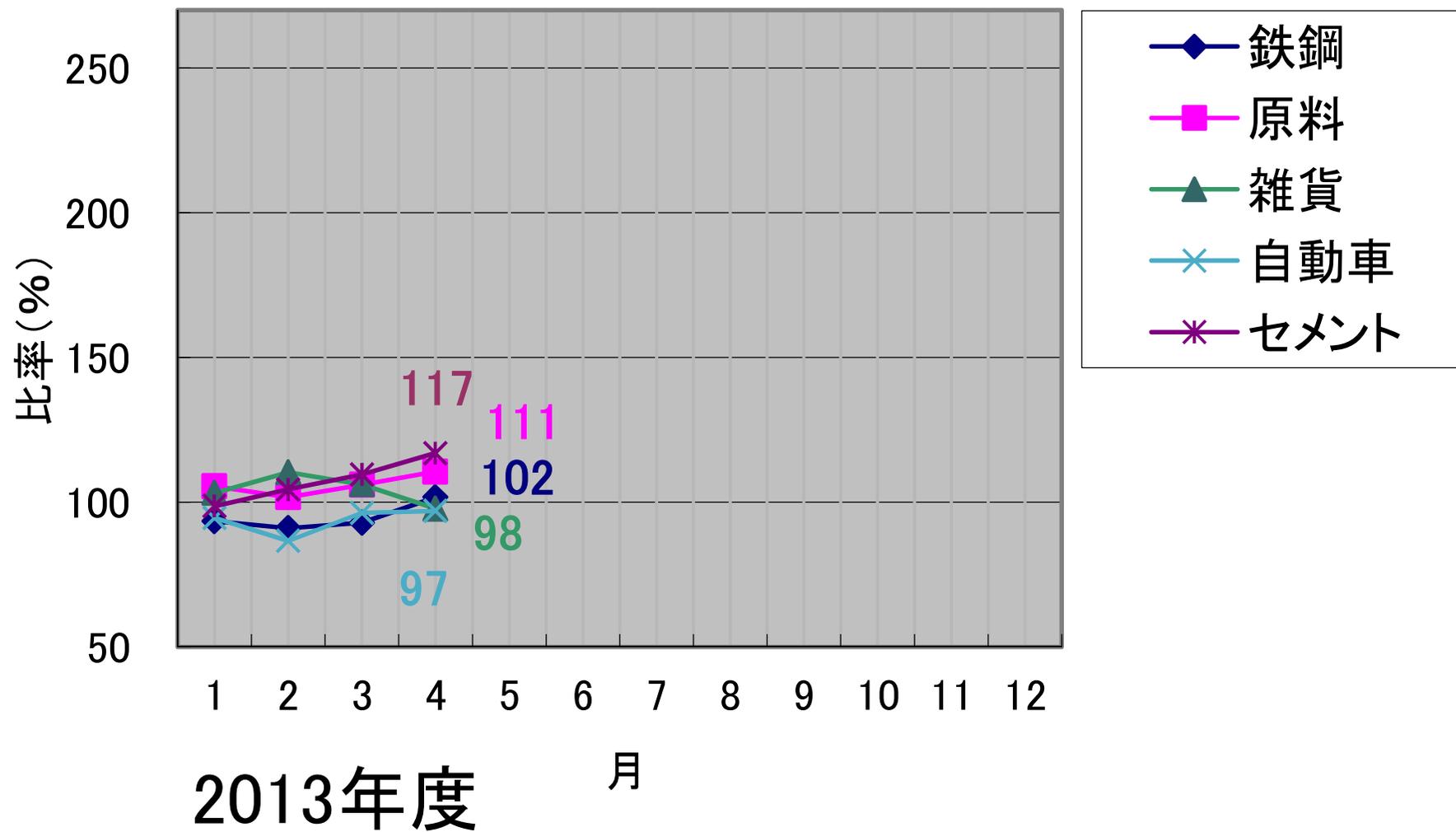
内航元請オペ50社+α【貨物船】輸送実績の推移



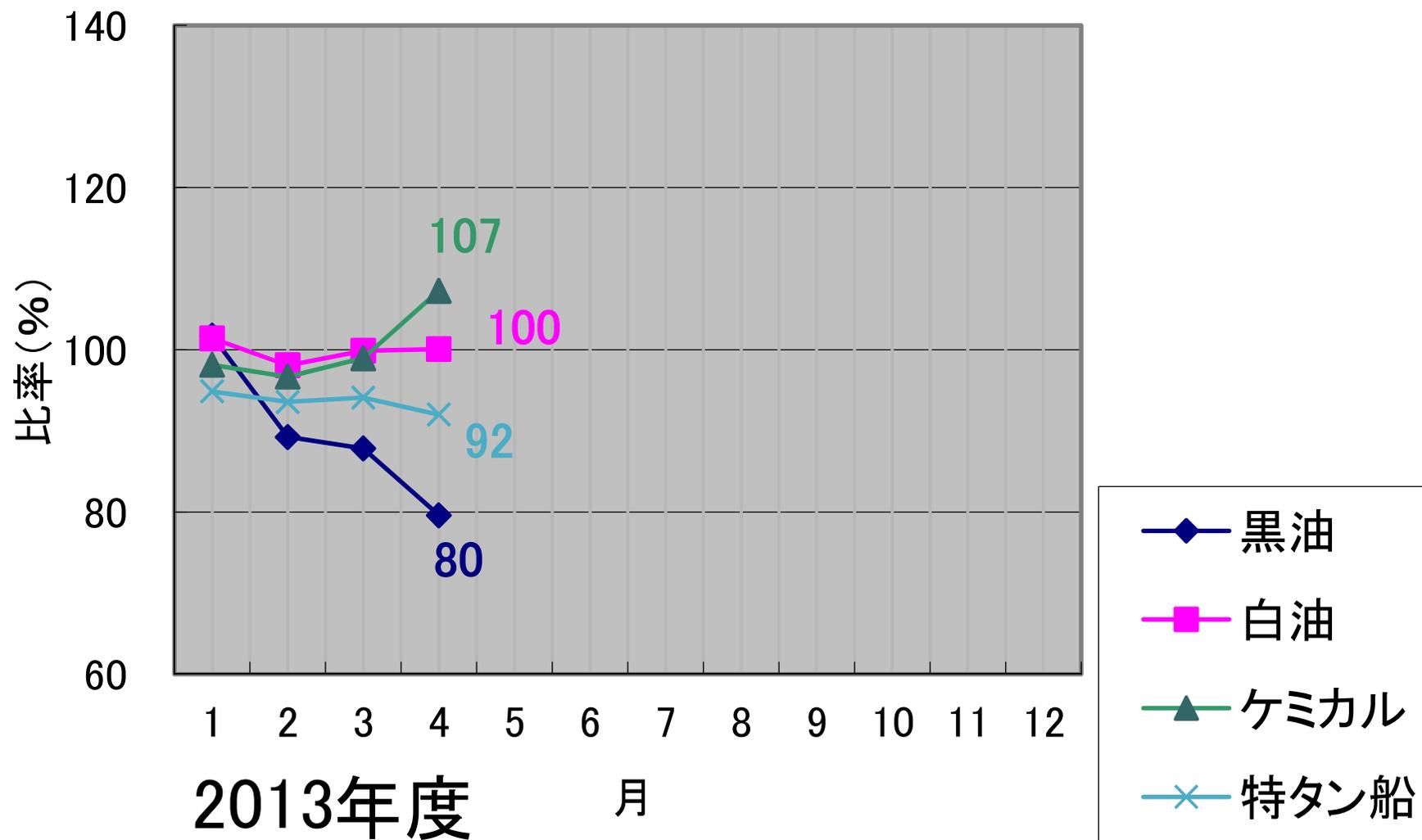
内航元請オペ50社+α【油送船】輸送実績の推移



貨物船主要品目輸送実績<前年同月対比>



油送船主要輸送品目輸送実績<前年同月対比>



2012年度 内航輸送元請オペ上位50社+α 輸送実績について

【図1】

品目・半期別輸送動向				
品目		上半期	下半期	計
白油*	合計	34,162	37,575	71,737
	前年比	100.00	100.35	100.18
	構成比	19.97	21.19	20.59
原料	合計	27,038	28,935	55,973
	前年比	102.71	103.65	103.20
	構成比	15.81	16.32	16.07
自動車	合計	23,799	22,560	46,359
	前年比	143.89	91.08	112.22
	構成比	13.91	12.72	13.31
黒油*	合計	21,697	22,491	44,188
	前年比	117.25	95.35	104.98
	構成比	12.68	12.68	12.68
鉄鋼	合計	21,453	20,722	42,175
	前年比	100.89	92.27	96.46
	構成比	12.54	11.69	12.11
セメント	合計	13,213	14,365	27,578
	前年比	105.00	102.52	103.69
	構成比	7.72	8.10	7.92
雑貨	合計	10,955	11,459	22,414
	前年比	103.30	102.60	102.94
	構成比	6.40	6.46	6.43
燃料	合計	5,662	5,605	11,266
	前年比	94.99	92.59	93.78
	構成比	3.31	3.16	3.23
ケミカル*	合計	4,014	4,107	8,120
	前年比	94.95	96.39	95.67
	構成比	2.35	2.32	2.33
高圧液化ガス*	合計	3,103	3,285	6,388
	前年比	97.24	92.33	94.65
	構成比	1.81	1.85	1.83
耐腐食*	合計	2,271	2,200	4,470
	前年比	85.15	93.21	88.94
	構成比	1.33	1.24	1.28
紙・パルプ	合計	1,326	1,411	2,737
	前年比	93.28	97.87	95.59
	構成比	0.78	0.80	0.79
高温液体*	合計	714	829	1,544
	前年比	102.21	96.87	99.27
	構成比	0.42	0.47	0.44

貨物船: 単位(千トン) / 油送船(*): 単位(千KL)

【図1】は2012年度における輸送実績で、白油、原料、自動車、黒油、鉄鋼の順に輸送量の多い品目を示している。

【図2】の円グラフを見ると、2011年度では、自動車よりも鉄鋼の輸送量が多かったが、エコカー補助金制度（2011年12月20日～2012年9月21日）により、自動車の大幅な輸送量の増加から2012年度には鉄鋼の輸送量と逆転している。

輸送品目の構成比としては、白油、原料、自動車の3品目で輸送量の50%を占める。黒油、鉄鋼の5品目までで75%となっている。

前年比より増加した品目は、白油、原料、自動車、黒油、セメント、雑貨の6品目であり、上半期については、原発の停止に伴う火力発電所用の需要の高まりから黒油が増加、前年比117%となっている。自動車についても上半期は前年比144%となっている。

復興需要・都市部の再開発による旺盛な民需の高まりから、セメント・原料については2012年度の輸送量は前年比103%と増加している。鉄鋼については、上半期にあった自動車の増加に伴って輸送量は前年並みの水準となっているものの、エコカー減税の終了や世界経済の失速から下半期は前年比92%と輸送量は減少したことから2012年度の輸送量は前年比96%となっている。

【図2】

